

# 四国4県より集い、森林整備（植栽）体験を行います！

## ～吉野川上下流交流大会を大川村で開催します。～

「吉野川上下流交流大会」は、吉野川の水源地域と受益地域の健全な交流を図ることを目的として、毎年開催しているもので、今年で22回目となります。  
四国4県より約100名の参加者が集い、森林整備（植栽）の体験等を行います。この整備により、吉野川上流地域の水源地域の水源地かん養機能の維持、増進が期待されます。  
森林整備の他、早明浦ダムの見学等も実施します。

### 1. 日時・場所

平成30年10月14日（日） 10時20分～15時30分

・開会式

10:20～ 大川村役場前の広場

・森林整備（植栽）体験

11:10～ 大川村高野地内

・早明浦ダム見学

14:30～ 早明浦ダム

### 2. 主催

四国三郎（吉野川）ふれあい会議

【構成】

いの町、大川村、土佐町、本山町、大豊町、三好市、徳島県、香川県、愛媛県、高知県  
国土交通省：四国地方整備局河川部、四国山地砂防事務所、吉野川ダム統合管理事務所  
水資源機構：関西・吉野川支社吉野川本部、池田総合管理所

【協力・指導】

大川村森林組合

### 3. その他

詳細は、別紙のとおり

降雨等の気象により中止する場合がありますので、

開催の有無につきましては、以下の問い合わせ先に確認願います。

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.3 美しい自然とおもてなしの心による「祖国」観光活性化プロジェクト】に該当します。

平成30年10月4日

【お問い合わせ先】

四国三郎（吉野川）ふれあい会議

事務局：国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所

◎調査課長：高島 浩信（内線 351）

計画係長：福岡 亮平（内線 352）

TEL：0883-72-3000（代）

◎：主な問い合わせ先

## 第22回

# 吉野川上下流交流大会

開催地：高知県大川村

吉野川の水源地域と受益地域の健全な交流を図ることを目的に「第22回吉野川上下流交流大会」を大川村において開催します。

四国4県より一般公募による参加者の皆様が、大川村に集い、森林整備（植栽）の体験等を行います。この整備により、吉野川上流域の山林の成長を促します。森林整備のほか、早明浦ダム見学等も実施します。

日時：平成30年10月14日（日）10時20分～15時30分

場所：高知県大川村

\* 開会式は大川村役場前の広場で10時20分より行います。

### スケジュール

時間	内容
～ 10:20	集合 (場所：大川村役場前広場)
10:20 ～ 10:40	開会式 (場所：大川村役場前広場) ○主催者代表挨拶 ・大川村長、四国地方整備局等 ○記念撮影
10:40 ～ 11:10	バス及び徒歩にて移動（開会式会場 から 植栽場所 へ）
11:10 ～ 12:20	森林整備（植栽）体験 (場所：大川村高野地内) ○作業手順や道具取り扱いの説明 ○ポット苗植栽
12:20 ～ 12:40	バス及び徒歩にて移動（植栽場所 から 村のえき へ）
12:40 ～ 14:00	昼食、自由行動 (場所：村のえき) ・コースター作成
14:00 ～ 14:30	バスにて移動（村のえき から 早明浦ダム へ）
14:30 ～ 15:30	早明浦ダム見学 (場所：早明浦ダム) ・早明浦ダムの見学
15:30	解散

## 主催 四国三郎(吉野川)ふれあい会議

いの町、大川村、土佐町、本山町、大豊町、三好市

徳島県、香川県、愛媛県、高知県

国土交通省：四国地方整備局河川部、四国山地砂防事務所、吉野川ダム統合管理事務所

水資源機構：吉野川本部、池田総合管理所

[協力・指導]：大川村森林組合

## 今までの吉野川上下流交流大会の様子



伐採作業の体験



伐採作業の体験



記念写真



村のえき周辺散策

## 早明浦ダム見学



早明浦ダム



早明浦ダム見学

### 四国三郎(吉野川)ふれあい会議 発足主旨

吉野川上流域(水源地域)では、吉野川総合開発により早明浦ダムを始めとする水資源開発施設が建設され、文字どおり「四国の命」としてかけがえのない役割を果たしております。

しかし、その水源地域では、産業振興や生活環境整備の遅れ、過疎・高齢化の進行等地域をとりまく社会情勢は年々厳しさを増してきております。

このような情勢の中、平成6年の大渴水を契機に水源地域の大切さが認識され、植樹などを通して水源地域と受益地域の交流が始まりました。

平成7年には、四国4県の知事等の参加による「早明浦ダム一万本植樹祭」、平成8年には「第1回 川の日 吉野川スポーツ交流大会」が実施されました。そのほか、香川・徳島両県による共同事業が取り組まれ、民間団体による交流も活発になってきております。

より良い水源地域を創っていくためには、受益地域と水源地域に係わる行政機関、民間機関、住民の方々が共通認識に立ち、相互協力のもとに広域的な連携を積極的に講じていく必要があります。

そのため、水源地域の民間機関代表者、町村、国土交通省、四国4県及び水資源機構からなる「四国三郎(吉野川)ふれあい会議」を発足し、交流に関する意見交換、情報交換、企画等を行うことにより、今後の上下流交流(地域連携)を活性化させ、水源地域と受益地域の健全な交流を図ろうとするものです。

「四国三郎(吉野川)ふれあい会議」



## 第22回吉野川上下流交流大会 位置図

